

Ⅸ 学生への情報連絡の手段等

学生のみなさんへの各種通知・連絡・案内等の連絡手段は次のとおりです。見落としのないよう確認する習慣を身につけてください。

【情報環境のセットアップ】

名古屋大学が提供する情報サービスを利用するために、新入生の皆さんが実施しなくてはならない情報環境のセットアップやオンライン研修があります。

下記の情報連携推進本部のサイトに実施する必要があるセットアップやオンライン研修をまとめたので、参照して、実施してください。

https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/setup_info_for_new_members.html



1. 名古屋大学ポータル

履修登録・確認、成績確認、シラバス閲覧等を行うことができ、さらに教養教育院から各種お知らせをします。

- 1) 教務システムの履修登録・履修確認・成績確認
- 2) シラバス閲覧
- 3) 教養教育院からの各種通知（全学教育科目の履修関係、学期末試験、追試験、再試験、検定試験による単位認定、その他重要なお知らせ等）

名古屋大学ポータルをはじめとする学内の各種情報サービスの利用には、名古屋大学 ID とパスワードが必要です。

【名古屋大学ポータル】

- ① [名古屋大学ホームページ](#)の下部にある「[名古屋大学ポータル](#)」をクリック

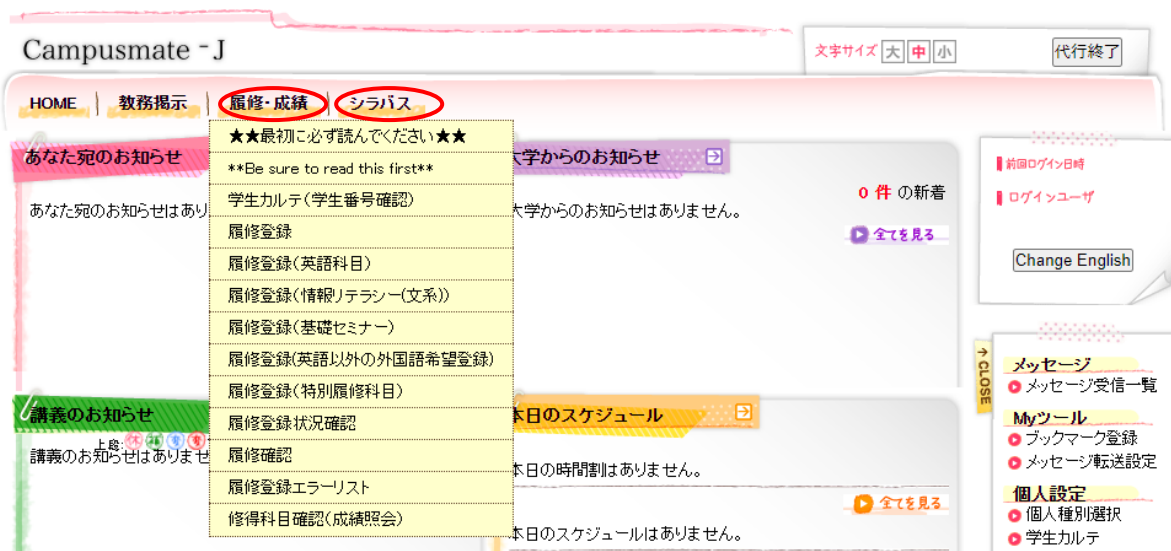


The screenshot shows the footer of the Nagoya University homepage. It features several logos for support offices and navigation links. The logos include: 文部科学省 科学技術振興機構 (MEXT), 設備・機器共用推進室 (Equipment and Instrument Shared Promotion Room), 業務支援室 (WORK SUPPORT OFFICE), 高等研究院 (Advanced Research Institute), GRL (Gender Research Laboratory), and 博士課程教育推進機構 (Doctoral Education Consortium). Below the logos are navigation links: 名古屋大学ポータル (Nagoya University Portal), 学内向けリンク集 (Link collection for students), 関連団体等へのリンク (Link to related organizations), サイトポリシー (Site Policy), and 教員情報検索 (Faculty information search). At the bottom right, the contact information is provided: 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL:052(789)5111(代表). The copyright notice at the bottom reads: Copyright ©2010-2021 Nagoya University All Rights Reserved.

- ② トップ画面から名古屋大学ポータルにログイン
 (多要素認証が必要。詳細は情報連携推進本部 HP を参照。)
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuid/CAS/>



- ③ 「教養教育院」をクリックして、教養教育院からのお知らせ、学生メニュー等を確認する。
 「学務」→「履修・成績」をクリックして、履修登録・履修確認・成績確認、シラバス閲覧をする。



3. NUCT

個別の授業の案内は教育学習支援システム NUCT*を中心に行います。

*教育学習支援システム NUCT (Nagoya University Collaboration and course Tools) は、インターネット上で授業運営(授業の連絡、教材の閲覧、課題の指示、レポート提出等)を行うシステムです。

<https://ct.nagoya-u.ac.jp/portal>

4. 掲示板

全学教育棟本館 1 階服部国際奨学財団ホール (学生ホール) の掲示板では、次の情報をお知らせします。

- 1) 全学教育科目の履修に関すること
- 2) 全学教育科目の緊急の休講・補講連絡
- 3) 全学教育科目の講義室の変更
- 4) 全学教育科目のレポート・試験に関すること
- 5) 授業料免除・奨学金に関すること
- 6) その他全学教育科目・授業、教養教育院からの重要なお知らせ

5. 休講・補講の連絡

休講・補講の連絡について、原則、各授業担当教員から、NUCT 講義サイトを通じてお知らせします。

6. 名古屋大学教養教育院公式 Twitter

この公式 Twitter は教養教育院から情報発信を行うことを目的としています。質問に対しての返信等はありませんので、質問等がある場合は、教養教育院事務室の窓口まで直接申し出てください。

アカウント名 : @NagoyaUniv_ilas https://twitter.com/NagoyaUniv_ilas

教養教育院の公式 Twitter では、次の情報をお知らせしています。

- 1) 全学教育科目に関する情報
- 2) 自然災害に伴う授業及び学期末期試験の取扱いに関する情報
- 3) 主に学部 1, 2 年生が対象となる説明会等の案内情報
- 4) 緊急時における情報



X 学部・学科別授業科目区分ごとの履修基準一覧（2022年度入学生用）

◎各学部の履修基準は，入学年度及び学科または履修コースにより異なりますので，必ず所属学部の「学生便覧」で確認してください。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

1. 文学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	10	
		初修外国語	10	次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目としてデータ科学基礎演習Aを履修することができる。
	国際理解科目		4	「現代教養科目（自然系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（自然系）及び（学際・融合系）	2		
超学部セミナー				
人文・社会系基礎科目	8			
小計	40			
学部科目	専門科目		84	「専門基礎科目」2単位を含む、合計84単位以上を修得すること。
	関連専門科目			
	専門基礎科目	2		
	小計	84		
合計		124		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分	必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	「大学での学び」基礎論	1	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は、通算6年までとする。 （在学年限(8年)－3～4年次の年数(2年)） ③ 言語文化科目2単位の不足者に限り、仮進級を認める。 ④ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。
	基礎セミナー	2	
	言語文化科目	20	
	健康・スポーツ科学	4	
	データ科学科目	1	
	国際理解科目		
	現代教養科目	2	
	超学部セミナー		
	人文・社会系基礎科目	6	
	専門基礎科目	2	
計	38		

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。
ただし、履修上の制限がありますので、79ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 随意科目であり、卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（上級リーディング）1	1 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
英語（上級リーディング）2	1 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1, 中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1, 基礎 2, 初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件及び進級要件を全て満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

2. 教育学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	10	
		初修外国語	10	次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Aを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（自然系）」又は「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（自然系）又は（学際・融合系）			
超学部セミナー				
人文・社会系基礎科目	8			
小計		41		
学部科目	専門科目	66	「専門基礎科目」18単位を含む、合計84単位以上を修得すること。	
	関連専門科目			
	専門基礎科目			
	小計	84		
合計		125		

(2) 進級要件単位数

教育学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。
ただし、履修上の制限がありますので、79ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次 以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

- 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）
（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1、中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1、基礎 2、初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件を全て満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

3. 法学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準		
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	12~14			
	基礎セミナー				
	データ科学科目 講義				
	人文・社会系基礎科目				
	言語文化科目	英語	10	<p>【一般学生】 英語10単位以上及び初修外国語（ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語）10単位以上を含む合計20-22単位を修得すること。 【外国人留学生】 日本語10単位以上及び英語又は初修外国語10単位以上を含む合計20-22単位を修得すること。</p>	
		初修外国語	10		
		日本語	10		
	健康・スポーツ学	講義	28		<p>履修の際はデータ科学基礎演習Aを履修すること。</p> <p>「現代教養科目（自然系）」又は「現代教養科目（学際・融合系）」2単位以上を含む合計6-8単位取得すること</p>
		実習			
	データ科学科目	演習			
国際理解科目					
現代教養科目（自然系）又は（学際・融合系）	2				
超学部セミナー					
小計		40~42			
学部科目	専門科目	82~84		<p>関連専門科目で必要単位に含めることができるのは合計20単位までである。</p>	
	関連専門科目				
	専門基礎科目				
合計		124			

(2) 進級要件単位数

法学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。
ただし、履修上の制限がありますので、79ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

- 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）
（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1、中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1、基礎 2、初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件を全て満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 外国人留学生

日本語で必修科目 10 単位以上、及び英語又は初修外国語 10 単位以上を含む合計 20 単位以上の必要です。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

4. 経済学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	10	【一般学生】 英語10単位以上、及び初修外国語で「多言語修得基礎」と一つの言語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）で9単位、合計19単位を修得すること。 【外国人留学生】 日本語10単位、及び英語又は初修外国語のうち1つの言語（母国語以外の言語）で9単位以上、合計19単位以上を修得すること。
		初修外国語	9	
		日本語	10	
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Aを履修すること。
	国際理解科目	4	2	イ 国際理解科目、現代教養科目（自然系及び学際・融合系）及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。 ロ 現代教養科目（自然系及び学際・融合系）から2単位以上修得すること。
現代教養科目（自然系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
人文・社会系基礎科目	8			
小計	40			
学部科目	専門科目	32～	56	
	関連専門科目	0～		
	専門基礎科目	28		
	小計	84		
合計	124			

(2) 進級要件単位数

専門科目（必修）の「卒論研究」を履修するためには、卒論研究に入る学年の始めの時点で、全学教育科目の卒業要件単位40単位のうちから28単位以上、専門系科目のうちから演習Ⅰ、演習Ⅱ各2単位を含めて56単位以上、計84単位以上を修得していなければなりません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。
ただし、履修上の制限がありますので、79ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
英語（セミナー）	2 単位	IV 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

- 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）
（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目 9 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 1	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	III 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	—	—	中級として読み替えることができます。
【初修外国語】中級 2	2 単位	—		
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1、基礎 2、~~初級完成~~を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件及び進級要件を全て満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 外国人留学生

日本語で必修科目 10 単位、英語又は初修外国語で必修科目 9 単位が必要です。英語を選択した場合、卒業要件は 9 単位以上ですが、必修科目はすべて 2 単位であるため、実質 10 単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

5. 情報学部：自然情報学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語, スペイン語, 朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目としてデータ科学基礎演習Bを履修することができる。
	国際理解科目	4		国際理解科目, 現代教養科目(人文・社会系)及び(学際・融合系)及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。
現代教養科目(人文・社会系)及び(学際・融合系)				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	18		① 微分積分学Ⅰ・Ⅱ, 線形代数学Ⅰ・Ⅱ, 計8単位を修得すること。 ② 「物理学基礎Ⅰ・Ⅱ, 物理学実験」, 「化学基礎Ⅰ・Ⅱ, 化学実験」, 「生物学基礎Ⅰ・Ⅱ, 生物学実験」, 「地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ, 地球科学実験」のうちから1組3科目, 計6単位を修得すること。 ③ 上記②のうち, 取得した組み合わせ以外の同一科目「基礎Ⅰ・Ⅱ」を1組とし, 1組2科目, 計4単位以上を修得すること。	
小計	41			
学部科目	専門科目	42～	87	学部科目の詳細は, 情報学部学生便覧で確認すること。
	関連専門科目	2～10		
	専門基礎科目	30～34		
	小計	87		
合計	128			

(2) 進級要件単位数

情報学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定, 緩和条件等は, 各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

1. 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
2. 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目はすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

6. 情報学部：人間・社会情報学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	10	次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目として「データ科学基礎演習A」を履修することができる。
	国際理解科目	4	88	国際理解科目、現代教養科目（ 人文 ・社会系及び学際・融合系）及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。 自然 ↓
	現代教養科目（自然系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
人文・社会系基礎科目	10			
自然系基礎科目	2		微分積分学 I 又は線形代数学 I を2単位以上修得すること。	
小計	40			
学部科目	専門科目	42～	学部科目の詳細は、情報学部学生便覧で確認すること。	
	関連専門科目	2～10		
	専門基礎科目	30～34		
	小計	88		
合計		128		

(2) 進級要件単位数

情報学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。ただし、履修上の制限がありますので、79 ページ以降に掲載してある〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109 ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目 8 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	II 期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	III 期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）
（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1, 中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1, 基礎 2, 初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件を全て満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

7. 情報学部：コンピュータ科学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	0	随意科目としてデータ科学基礎演習Bを履修することができる。
	国際理解科目	4		国際理解科目、現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）及び超学部セミナーから合計4単位以上修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	18		① 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験を含む計18単位を修得すること。 ② 「化学基礎Ⅰ，化学基礎Ⅱ」，「生物学基礎Ⅰ，生物学基礎Ⅱ」及び「地球科学基礎Ⅰ，地球科学基礎Ⅱ」のうちから1組2科目，計4単位を修得すること。	
小計		41		
学部科目	専門科目	42～	87	学部科目の詳細は、情報学部学生便覧で確認すること。
	関連専門科目	2～10		
	専門基礎科目	30～34		
	小計	87		
合計		128		

14

(2) 進級要件単位数

情報学部には、「進級制度」はありません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目はすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

8. 理学部：数理学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	14	<ul style="list-style-type: none"> ・微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論の合計10単位修得すること。 ・以下の科目から4単位以上修得すること。 電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験		
小計	36			
学部科目	専門科目	80~72		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	16~24		
	小計	96		
合計		132		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限（8年）－2~4年次の年数（3年）） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

9. 理学部：物理学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	22		・物理学基礎Ⅰ，電磁気学Ⅰ・Ⅱの合計6単位を修得すること。 ・以下の科目から合計16単位以上を修得すること。 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験 ただし，微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論のうちから合計6単位以上を修得すること。	
小計		44		
学部科目	専門科目	64～55		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	19～28		
	小計	83		
合計		127		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限（8年）－2～4年次の年数（3年）） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

10. 理学部：化学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	20		・微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論のうちから合計8単位以上を修得すること。 ・以下の科目から12単位以上修得すること。 電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	42			
学部科目	専門科目	50～47		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	34～37		
	小計	84		
合計		126		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限（8年）－2～4年次の年数（3年）） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

11. 理学部：生命理学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	16		・以下の科目から16単位以上修得すること。 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	38			
学部科目	専門科目	66~62		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	20~24		
	小計	86		
合計		124		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限（8年）－2~4年次の年数（3年）） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

12. 理学部：地球惑星科学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	1	多言語修得基礎を履修すること。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。その場合、日本語文章表現法を履修すること。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	18		・以下の科目から合計18単位以上修得すること。 微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学基礎Ⅰ・Ⅱ，物理学実験，化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験，生物学基礎Ⅰ・Ⅱ，生物学実験，地球科学基礎Ⅰ・Ⅱ，地球科学実験	
小計	40			
学部科目	専門科目	68～45		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	20～43		
	小計	88		
合計		128		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目（「教育の基礎的理解に関する科目」）は20単位には含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 （在学年限（8年）－2～4年次の年数（3年）） ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、108ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：必修科目1単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	選択科目	卒業必要単位は多言語修得基礎の1単位ですが、進級要件単位として扱います。
【初修外国語】基礎2	2単位	II期		
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は1単位以上ですが、必修科目が2単位であるため、実質2単位取得する必要があります。

13. 医学部：医学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	4	基礎セミナーA, 基礎セミナーBを履修すること。	
	言語文化科目	英語	6	
		初修外国語	5	※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	4~0	12	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解科目, 「現代教養科目(人文・社会系)」, 「現代教養科目(自然系)」, 「現代教養科目(学際・融合系)」及び超学部セミナーから12単位以上取得すること。 ・V期およびVII期において, 各2単位以上を取得すること。 ・V期およびVII期の超学部セミナーとして, 鶴舞キャンパスで開講する「医学研究ゼミ」(基礎・社会・臨床医学のいずれかの講座/研究室に配属され研究に従事する)を選択できる。
	現代教養科目(人文・社会系)	4~0		
	現代教養科目(自然系)	2~0		
	現代教養科目(学際・融合系)	4~0		
	超学部セミナー	4~0		
自然系基礎科目	10	<ul style="list-style-type: none"> ・数学通論I・II, 物理学基礎I・II, 化学基礎I・II[各2単位]のうちから6単位, うち化学基礎I・IIのいずれかは必修 ・生物学基礎I[2単位] ・物理学実験及び化学実験[各2単位]のうちから2単位以上を含む計10単位以上を必要とする。 		
小計	44			
学部科目	専門科目	166		
	関連専門科目	0		
	専門基礎科目	0		
	小計	166		
合計	210			

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等（編入者を除く）
2年次終了時	2年次終了時において、『全学教育科目』30単位以上を修得し、『専門科目』の2年次までに開講される所定の全科目について履修認定を受けていること。	<ol style="list-style-type: none"> ① 2年次に留める。 ② 2年次の在学年数は, 通算8年までとする。 (在学年限(12年) - 3~6年次の年数(4年)) ③ ②の通算8年に達しても進級できない者については除籍する。
3年次終了時	3年次終了時において、『専門科目』の3年次までに開講されている所定の科目を全て修得していること。ただし, 所定の科目のうち1科目が不足している者に限っては, 進級を認めるものとするが, この場合, 全ての科目において履修認定を受けていることを必要とする。	<ol style="list-style-type: none"> ① 3年次に留める。 ② 3年次の在学年数は, 通算9年までとする。 (在学年限(12年) - 4~6年次の年数(3年)) ③ ②の通算9年に達しても進級できない者については除籍する。
4年次終了時	4年次終了時において, 4年次までに開講されている全ての『専門科目』について履修の認定を受けて, さらにその科目のうち, PBLチュートリアル及び臨床医学総論の単位を修得していること。なお, 1科目が不足した状態で4年次へ進級した者は, 上記条件に加え, 不足していた1科目の単位を修得していることが望ましい。	<ol style="list-style-type: none"> ① 4年次に留める。 ② 4年次の在学年数は, 通算10年までとする。 (在学年限(12年) - 5~6年次の年数(2年)) ③ ②の通算10年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定, 緩和条件等は, 各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。
特に「数学通論Ⅰ・Ⅱ」と「生物学基礎Ⅰ」は、開講対象学部が医学部医学科向けの科目のみ卒業要件単位として認められます。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目6単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（基礎）	2単位	Ⅰ期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてBコースとなった学生は履修を強く推奨します。卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（中級）	2単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（上級）	2単位	Ⅲ期	必修科目	
英語（セミナー）	2単位	Ⅳ期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期		
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

- 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）
（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	Ⅰ期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	Ⅱ期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	Ⅱ期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

14. 医学部：保健学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準				
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1					
	基礎セミナー	2					
	言語文化科目	英語	8				
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語			
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。			
	健康・スポーツ科学科目	講義	2				
		実習	2				
	データ科学科目	講義	1				
		演習	1	データ科学基礎演習A又はデータ科学基礎演習Bを履修すること。			
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。			
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）						
超学部セミナー							
自然系基礎科目	10	数学通論Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学実験のうちから10単位以上修得すること。					
小計		36					
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻	
学部科目	専門科目	68	65	76~78	69	71	
	関連専門科目	0	0	0	0	0	
	専門基礎科目	23	33	21~23	19	22	
	小計	91	98	99	88	93	
合計		127	134	135	124	129	

(2) 進級要件単位数

医学部保健学科には、「進級制度」はありません。
 ただし、3年次秋学期以降または4年次春学期以降の臨床（臨地）実習等を履修するためには、各専攻が定める履修条件を満たしていなければなりません。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

15. 工学部：化学生命工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	22		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ，物理学実験の合計8単位を取得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。	
小計		46		
学部科目	専門科目	38		
	関連専門科目	3		
	専門基礎科目	46		
	小計	87		
合計		133		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語習得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい））から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

1. 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
2. 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

16. 工学部：物理工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目		4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）	2			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。	
小計	48			
学部科目	専門科目	49		
	関連専門科目	4		
	専門基礎科目	31		
	小計	84		
合計	132			

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語修得基礎及びドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい））から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は、物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め、全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は、通算6年までとする。（在学年限(8年) - 3~4年次の年数(2年)） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学生は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

17. 工学部：マテリアル工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
		日本語		
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目		4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）	2			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。	
小計		48		
学部科目	専門科目	41		
	関連専門科目	1		
	専門基礎科目	45		
	小計	87		
合計		135		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語習得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限(8年) - 3~4年次の年数(2年)） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

18. 工学部：電気電子情報工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。	
小計	48			
学部科目	専門科目	45		
	関連専門科目	4		
	専門基礎科目	38		
	小計	87		
合計		135		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語習得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限(8年)－3～4年次の年数(2年)） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

19. 工学部：機械・航空宇宙工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目		4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）	2			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論の合計10単位を修得すること。 物 理 学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱの合計4単位を修得すること。	
小計	48			
学部科目	専門科目	37		
	関連専門科目	3		
	専門基礎科目	46.5		
	小計	86.5		
合計	134.5			

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語習得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい）から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限(8年)－3～4年次の年数(2年)） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学生は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

20. 工学部：エネルギー理工学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」（6単位）を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目	2	4	「現代教養科目（人文・社会系）」及び「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目（人文・社会系）及び（学際・融合系）				
超学部セミナー				
自然系基礎科目	24		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ，電磁気学Ⅰ・Ⅱ，物理学実験の合計10単位を修得すること。 化学：化学基礎Ⅰ・Ⅱ，化学実験の合計6単位を修得すること。	
小計	48			
学部科目	専門科目	34		
	関連専門科目	4		
	専門基礎科目	47		
	小計	85		
合計		133		

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語（多言語習得基礎及びドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語，朝鮮・韓国語のうちから1外国語（外国人留学生は日本語でもよい））から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は，物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め，全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は，通算6年までとする。（在学年限（8年）－3～4年次の年数（2年）） ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定，緩和条件等は，各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学者は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

21. 工学部：環境土木・建築学科の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	
		初修外国語	5	多言語修得基礎と次のうち一つの言語で合計5単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」(6単位)を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習		
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目		4	「現代教養科目(人文・社会系)」及び「現代教養科目(学際・融合系)」2単位を含む4単位を修得すること。
現代教養科目(人文・社会系)及び(学際・融合系)	2			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	20		数 学：微分積分学Ⅰ・Ⅱ、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、複素関数論から合計8単位以上を修得すること。 物理学：力学Ⅰ・Ⅱ、電磁気学Ⅰ、物理学実験の合計8単位を修得すること。 化 学：化学基礎Ⅰ・Ⅱの合計4単位を修得すること。	
小計		44		
		環境土木プログラム	建築学プログラム	
学部科目	専門科目	46	47	
	関連専門科目	5	8	
	専門基礎科目	37	33	
	小計	88	88	
合計		132	132	

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	① 「言語文化科目」として英語及び初修外国語(多言語習得基礎及びドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語のうちから1外国語(外国人留学生は日本語でもよい))から11単位以上を修得していること。 ② 自然系基礎科目は、物理学実験2単位を含む18単位以上を修得していること。 ③ ①及び②を含め、全学教育科目で40単位以上修得していること。	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は、通算6年までとする。(在学年限(8年)→3~4年次の年数(2年)) ③ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレースメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：多言語修得基礎及び1言語について、必修科目5単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
多言語修得基礎	1単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎1	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級	2単位	—		
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。その場合、「日本語」としての卒業要件は5単位以上ですが、必修科目がすべて2単位であるため、実質6単位取得する必要があります。

(2022年度入学生用)

2021年度入学生は「2021 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

22. 農学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準	
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1		
	基礎セミナー	2		
	言語文化科目	英語	8	詳細は次ページを参照のこと。
		初修外国語	6	次のうち一つの言語で合計6単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 詳細は次ページを参照のこと。
		日本語		※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
	健康・スポーツ科学科目	講義	2	
		実習	2	
	データ科学科目	講義	1	
		演習	1	データ科学基礎演習Bを履修すること。
	国際理解科目		6	「現代教養科目（人文・社会系）」4単位を含む6単位を修得すること。
	現代教養科目（人文・社会系）	4		
	現代教養科目（学際・融合系）			
超学部セミナー				
自然系基礎科目	20	生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ、微分積分学Ⅰ、線形代数Ⅰを修得し、生物学実験、化学実験、物理学実験の中から2科目以上修得し、合計20単位以上を修得すること。		
小計	49			
専門基礎科目	40	生物環境科学科および資源生物科学科「専門基礎科目」のうち、必修科目40単位を修得すること。 応用生命科学科「専門基礎科目」のうち、必修科目36単位、選択必修科目4単位以上を修得すること。		
専門科目	45	「専門科目」のうち、必修科目22単位（生物環境科学科、応用生命科学科）または24単位（資源生物科学科）＋選択必修科目23単位以上（生物環境科学科、応用生命科学科）または21単位以上（資源生物科学科）を修得すること。 なお、詳細は農学部学生便覧で必ず確認すること。		
小計	85			
合計	134			

[備考] 農学部特別講義の単位認定は、上限6単位とする。

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	2年次終了時において、68単位以上修得していること。 ただし、68単位の中に全学教育科目を42単位以上含んでいること。	① 2年次に留める。 ② 2年次の在学年数は、通算6年までとする。 (在学年限(8年)－3～4年次の年数(2年)) ただし、休学期間は通算期間に含めない。 ③ ②の通算6年に達しても進級できないものについては除籍する。
3年次終了時	3年次終了時において、108単位以上修得していること。 ただし、108単位(注)の中に言語文化科目14単位、専門基礎科目(生命農学序説、生物化学1、無機化学、有機化学1を含む)24単位以上および実験実習(基盤実験実習を含む)8単位を含んでいること。	① 3年次に留める。 ② 3年次までの在学年数は、通算7年までとする。 (在学年限(8年)－4年次の年数(1年)) ただし、休学期間は通算期間に含めない。 ③ ②の通算7年に達しても進級できない者については除籍する。

注) ここでいう108単位は、進級判定年次における修得単位数のうち、卒業要件単位数の科目区分ごとの必要単位数を上限として集計する。超えた分については、108単位に計上されない。

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- 自然系基礎科目については、開講対象学部等以外の科目を履修し試験に合格しても、卒業要件単位として認められないことがありますので、109ページ以降に掲載してある〔授業科目表〕及び〔履修に関する注意事項〕を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

1. 英語

卒業要件：必修科目8単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
英語（サバイバル）	1単位	I期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてCコースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2単位	I期	必修科目	
英語（中級）	2単位	II期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2単位	II期	必修科目	
英語（上級）	2単位	III期	必修科目	
英語（セミナー）	2単位	IV期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（資格試験英語）	2単位	春学期		
特別英語セミナー（A類）	2単位	3年次 以上		
特別英語セミナー（B類）	2単位			
特別英語セミナー（C類）	2単位			

2. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1言語について、必修科目6単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎1	2単位	I期	必修科目	
【初修外国語】基礎2	2単位	I期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2単位	II期	必修科目	
【初修外国語】中級	2単位	—	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
【初修外国語】中級1	2単位	—		
【初修外国語】中級2	2単位	—		
【初修外国語】上級	2単位	—		

3. 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

4. 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。

XI 各授業科目及び履修に関する注意事項

1. 「大学での学び」基礎論

〔授業科目表〕

授 業 科 目		単位数	備 考
「大学での学び」基礎論	講義	1	全学部

〔開講の目的〕

各授業科目の「開講の目的」は、教養教育院のホームページで確認してください。

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/courses.html#subject>



〔履修に関する注意事項〕

(1) 履修

- ・全学部必修（法学部のみ選択必修）
- ・「履修手続きに関する注意事項」に従い、履修登録してください。

(2) 時間割

- ・I期 火曜3限 対象：工学部
 - ・I期 木曜2限 対象：情報学部（自然・コン）、理学部、医学部、農学部
 - ・I期 木曜3限 対象：文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報学部（人社）
- （注）対象学部以外に開講されている授業は、受講できません。

(3) 授業内容

大学生として求められる知識・知恵・見識を入学当初に学ぶ機会として、複数のテーマを設定しています。これらすべてのテーマを受講することが必要です。

授業はオムニバス形式で、講義室で行う対面授業と電子教材によるオンデマンド型授業により行います。

〈 2022 年度 〉

- | | |
|--------------------|-------------|
| ①大学の歩き方—知識の森で迷ったら— | 【対面授業】※1 |
| ②キャリア形成 | 【オンデマンド型授業】 |
| ③名大の歴史 | |
| ④社会安全学 | |
| ⑤知的財産権の基礎 | |
| ⑥ジェンダー学入門 | |
| ⑦名大生のための留学講座 | |
| ⑧ICT利活用と情報セキュリティ | |

※1. ①は対面授業を3回（第1週、第5週又は6週、第13週又は14週）実施します。

対面授業の詳細はNUCTによりお知らせする予定です。

(4) 再履修

I期に修得できなかった場合は、II期に開講予定の同一名称の授業（再履修クラス）を再度受講して単位を取得しなければなりません。

再履修する場合は、各自履修登録する必要があります。

2. 基礎セミナー

〔授業科目表〕

授 業 科 目		単位数	備 考
基礎セミナー	演 習	2	全学部（医学部医学科以外）
基礎セミナーA	演 習	2	医学部医学科のみ
基礎セミナーB	演 習	2	医学部医学科のみ

〔開講の目的〕

各授業科目の「開講の目的」は、教養教育院のホームページで確認してください。

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/courses.html#subject>



〔履修に関する注意事項〕

科目名	開講時期	対象学部・学科												
		文学部 教育学部 法学部 経済学部 情報(人社)	情報学部		理学部	医学部		工学部				農学部		
			自然	コン		医	保健	化生	物工 エネ	マテ 土建	電情 機航	環境 資生	生命	
基礎セミナー (文理融合クラス)	I 期	月曜4限	○			○			○		○	○		
		月曜5限	○	○	○	○			○		○	○	○	
		火曜4限	○		○			○		○	○			○
		火曜5限	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○
		木曜5限	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
基礎セミナーA	I 期	金曜4限					○							
基礎セミナーB	II 期	金曜3限					○							

(注1) 対象学部以外に開講されている基礎セミナーは、受講できません。

(注2) 上記のほか、全学部向けにI期集中（夏季休業中）に、岐阜大学と連携して、基礎セミナーの開講を予定しています。夏季集中クラスの基礎セミナーの受講者募集は5月頃を予定しています。（夏季集中クラスの基礎セミナーは、医学部医学科では卒業要件に算入されません。）

(注3) 日本語を履修する学生（外国人留学生に限る）木曜5限「日本語口頭表現法」を履修する必要があるため、履修登録の際、木曜5限以外の基礎セミナーを希望して登録してください。

(1) 受講希望調査

- ① 各基礎セミナーは、各クラス15名以下です。（医学部医学科対象の「基礎セミナーA」「基礎セミナーB」は12名以下。以下同じ。）
- ② ガイダンス前にシラバスにより希望するテーマ（授業）をよく考えておいてください。
「名古屋大学ポータル (<https://portal.nagoya-u.ac.jp/>)」－「教養教育院」に基礎セミナーのテーマの一覧を掲載します。併せて参照してください。
- ③ 履修登録の際、希望するテーマを第6位まで選択してください。

(2) 受講調整と調整結果

- ① 受講調整は、受講希望に基づいて、受講者数制限（定員15名）まで割り振り、どの基礎セミナーに所属するかを決定します。
その際、第6希望までのテーマに入らない場合は、他の基礎セミナーに割り振られます。
- ② 一度決定された基礎セミナーからの変更及び辞退は、原則としてできません。

【希望するクラスを受講するためのティップス】

時間割で4限のクラスは受講希望者が多い傾向です。受講調整は、第1希望から順にクラスごとに抽選するため、第6希望まで同じ時間帯に集中して選択することなく、曜日・時限を分散して登録することをお勧めします。

(3) 単位補充（医学部・医学科を除く）

基礎セミナーで単位を修得できなかった場合は、次年度で修得することになります。

(4) 医学部・医学科学生の単位補充

基礎セミナーA 及び基礎セミナーB で単位を修得できなかった場合は、それぞれ次年度の基礎セミナーA 及びB で修得することになります。

3. 言語文化科目

(1) 外国語の履修について

① 言語文化科目の概略

名古屋大学では、全学教育科目の中の一区分である「言語文化科目」として、外国語の授業を開講しています。言語文化教育は、コミュニケーションツール、リサーチツールとして活用することが可能となるよう言語教育の有効性と効率化を図るとともに、異文化理解と異文化との共生の素養を培うことにより、国際感覚を備えた人材を養成することを目標としています。また、英語では、国際基準の英語力を育成し、学術論文の読解力と論文執筆能力、さらに、聴解と会話を含めたプレゼンテーション能力を養成することを目指しています。

■言語文化科目の言語

英語

初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

※このほか、随意科目（卒業要件に入らない）として、イタリア語、ポルトガル語の科目を開講

日本語（外国人留学生対象）

■開講時間

「学部指定オビ」：I期からIV期までの学部ごとに指定された時間帯で、通常はこの時間帯に履修します。

「学部指定オビ以外」：単位補充や自ら学びたい学生のため上記の言語の授業が提供されています。

② 学部別「言語文化科目」履修の指針

「X 学部・学科別授業科目区分ごとの履修基準一覧」で示している卒業要件や進級要件単位数のほか、学部別に在学中に履修することが望ましい外国語について定めている内容を紹介します。

【文 学 部】

2年次から分属する各分野・専門における学修のため、英語の他に特定の外国語を履修しておくことが望ましい分野・専門と該当する外国語を下表で示しています。初修外国語を履修するにあたり、下表を参考として選んでください。

ただし、上記のどの外国語を履修しても、いずれの分野・専門にも進むことができます（分野・専門の分属について疑問のある場合には、各分野・専門の教員にお尋ねください）。

分野・専門	各分野・専門において履修が望ましい初修外国語
言 語 学	特に指定がない
日 本 語 学	特に指定がない
日 本 文 学	特に指定がない
英 語 学	ドイツ語、フランス語、スペイン語
英 米 文 学	ドイツ語、フランス語
ド イ ツ 語 ド イ ツ 文 学	ドイツ語
ド イ ツ 語 圏 文 化 学	ドイツ語
フ ラ ン ス 語 フ ラ ン ス 文 学	フランス語
中 国 語 中 国 文 学	中国語
哲 学	ドイツ語、フランス語
西 洋 古 典 学	ドイツ語、フランス語
中 国 哲 学	中国語
イ ン ド 哲 学	ドイツ語、フランス語

日 本 史 学	特に指定がない
東 洋 史 学	中国語
西 洋 史 学	ドイツ語, フランス語
美 学 美 術 史 学	ドイツ語, フランス語, 中国語
考 古 学	ドイツ語, フランス語, スペイン語, 中国語, 朝鮮・韓国語
文 化 人 類 学	特に指定がない
社 会 学	ドイツ語, フランス語
心 理 学	特に指定がない
地 理 学	特に指定がない

※英語以外の、履修が望ましい外国語が複数示されている場合には、各自の関心に合わせて履修外国語を決めるようにしてください。

履修する外国語についてわからないことがあったら、各自、分属を希望する分野・専門の教員へ問い合わせてください。

【教育学部】

人間発達科学の勉学と研究のためには、専攻領域のいかんにかかわらず、2か国語以上の外国語能力が必要です。

卒業するために必要な言語文化科目の単位は、これらの単位は2年終了までに修得することが望ましいです。

【法学部】

指定なし。

【経済学部】

指定なし。

【情報学部】

情報学部は、それぞれに特色を持つ3つの学科から構成されているため、学科によって、修得科目及び単位数を異にしています。

各学科で示されている言語文化科目の卒業要件は、最小限の外国語の履修であり、卒業後において幅広い活躍をするためにも、このほかに選択しなかった外国語やさらに上級の外国語を履修するようにしてください。

【理学部】

言語文化科目の卒業要件は最小限の外国語の履修です。本学部における学習・研究には、英語を始めとする外国語の力が必要不可欠であり、上記の必要単位のほかに外国語をできる限り履修するようにしてください。

【医学部】

指定なし。

【工学部】

工学部における学習・研究には、専攻分野にかかわらず外国語の力が極めて重要です。単に単位を修得することにとどまらず、実質的に語学力の涵養に努めることが大切です。

【農学部】

農学部における学習・研究のためにも、また、卒業後、社会人として活躍するためにも、外国語は非常に重要です。

(2) 英語

〔授業科目表〕

授業科目		単位数	備考
英語（基礎）	演習	2	
英語（中級）	演習	2	
英語（コミュニケーション）	演習	2	
英語（上級）	演習	2	
英語（セミナー）	演習	2	
英語（上級リーディング）1	演習	1	
英語（上級リーディング）2	演習	1	
英語（サバイバル）	演習	1	随意科目
特別英語セミナー（資格試験英語）	演習	2	随意科目
特別英語セミナー（A類）	演習	2	随意科目
特別英語セミナー（B類）	演習	2	随意科目
特別英語セミナー（C類）	演習	2	随意科目

〔開講の目的〕

各授業科目の「開講の目的」は、教養教育院のホームページで確認してください。

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/courses.html#subject>



〔特色〕

① 少人数教育

「英語（サバイバル）」、「英語（基礎）」、「英語（中級）」、「英語（上級リーディング）」は40名規模、「英語（上級）」は20名規模、「英語（コミュニケーション）」、「英語（セミナー）」は24名規模でクラス編成をし、高い教育効果をめざしたきめ細かな教育を実施しています。

② 生きた外国語教育

外国語母語話者を積極的に任用し、フェイストゥフェイスで生きた外国語に接しうるよう環境整備をはかっています。

③ 習熟度別コース編成、段階別クラス編成

入学時に実施されるプレイスメント・テストにより、A、Pre-A、B、Cコースの習熟度別コース編成を行っています。また、学生は、「英語（サバイバル）」（Cコースのみ）、「英語（基礎）」、「英語（中級）」、「英語（コミュニケーション）」等の授業を段階別に受講します。

④ 検定試験の活用

入学時と1年秋学期にTOEFL ITP及びライティング能力を測るCriterion試験の一斉受験を行います。また、英語検定試験の結果によって、単位を認定する「検定試験による単位認定制度」を設けています。

⑤ eラーニング教材の活用

課外学習として、また、一部授業では授業内において、eラーニング教材を活用し、学習量の増加をはかるとともに、自律的な学習習慣を育てています。

〔履修に関する注意事項〕

① 入学時の履修手続き

【英語（基礎）】

入学時のプレイスメント・テスト（TOEFL ITP 試験及び Criterion 試験）の結果により、Aコース、Pre-Aコース、Bコース（Cコース含む）に分かれて受講します。受講する授業は、教養教育院で受講調整を行い、決定されます。

入学後、次のスケジュールになります。

日にち	内容
4月4日（月）及び 6日（水）	TOEFL ITP 試験及び Criterion 試験を受験（全員） 詳細は アカデミック・イングリッシュ支援室のホームページ に掲載します。
4月15日（金）	英語（基礎）の受講クラス決定※医学部医学科のA及びPre-Aコースを除く。 「 名古屋大学ポータル 」－「教養教育院」のページに掲載 ※決定された授業からの変更はできません。 （「英語（サバイバル）」の受講者と受講クラスも同時に掲載します。）
4月15日（金） ～21日（木）	受講クラスごとに指定された教科書を購入（生協等で購入）
4月11日（月）～	授業開始 ※1年生の英語の授業だけは、第2週目の4月18日（月）から始まります。

【英語（サバイバル）】

プレイスメント・テストでCコースとなった学生だけが受講する授業です。この授業は、該当学生を学生番号順に各授業に振り分けます。

4月15日（金）に、「[名古屋大学ポータル](#)」－「教養教育院」のページで、「英語（サバイバル）」のクラス別対象者を掲載するので、新入生の皆さんは全員、自分が「英語（サバイバル）」の授業を受講する必要があるか、また、受講する場合に、どのクラスに入るかを確認してください。

② 学部・学科別履修パターン

文学部

コース	I期	II期	III期	IV期	備考
A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	卒業単位として、 英語（基礎）2単位、 英語（中級）2単位、 英語（コミュニケーション）2単位、 英語（上級）2単位、 英語（上級リーディング）計2単位 が必要
Pre-A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	
B ※C含む	英語（基礎） 英語（サバイバル） ※Cのみ	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	

教育学部，法学部，経済学部

コース	I期	II期	III期	IV期	備考
A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	卒業単位として、 英語（基礎）2単位、 英語（中級）2単位、 英語（コミュニケーション）2単位、 英語（上級）2単位、 英語（セミナー）2単位 が必要
Pre-A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	
B ※C含む	英語（基礎） 英語（サバイバル） ※Cのみ	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	

情報学部, 理学部, 医学部 (保健学科), 工学部

コース	I 期	II 期	III 期	備考
A	英語 (基礎)	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	卒業単位として, 英語 (基礎) 2 単位, 英語 (中級) 2 単位, 英語 (コミュニケーション) 2 単位, 英語 (上級) 2 単位 が必要
Pre-A	英語 (基礎)	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	
B ※C 含む	英語 (基礎) 英語 (サバイバル) ※C のみ	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	

医学部 (医学科)

コース	I 期	II 期	III 期	IV 期	備考
A	—	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	英語 (セミナー) 【随意科目】	卒業単位として, 英語 (中級) 2 単位, 英語 (コミュニケーション) 2 単位, 英語 (上級) 2 単位 が必要
Pre-A	—	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	英語 (セミナー) 【随意科目】	
B ※C 含む	英語 (基礎) 注 英語 (サバイバル) ※C のみ	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	英語 (セミナー) 【随意科目】	

注) 英語 (基礎) は卒業要件には入りませんが, B 及び C コースの場合, クラス分けの対象になります。今後の英語学習のため, 履修を強く推奨します。

農学部

コース	I 期	II 期	III 期	IV 期	備考
A	英語 (基礎)	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	英語 (セミナー) 【随意科目】	卒業単位として, 英語 (基礎) 2 単位, 英語 (中級) 2 単位, 英語 (コミュニケーション) 2 単位, 英語 (上級) 2 単位 が必要
Pre-A	英語 (基礎)	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	英語 (セミナー) 【随意科目】	
B ※C 含む	英語 (基礎) ※ 英語 (サバイバル) ※C のみ	英語 (中級) 英語 (コミュニケーション)	英語 (上級)	英語 (セミナー) 【随意科目】	

③ 各科目の紹介

1) 「英語 (サバイバル)」受講定員：原則 40 名，1 単位

C コース学生のみが受講します。

成績評価は「P」または「NP」によってなされ，取得単位は卒業に必要な単位に認定されません。

C コースの学生はこの授業に「合格(P)」しないと 2 年次の「英語」授業を受講できません。「不合格(NP)」評価を得た場合は，「英語 (サバイバル)」を再度履修して「合格」評価を得なければなりません。

2) 「英語 (基礎)」・「英語 (中級)」受講定員：原則 40 名，2 単位

A コース，Pre-A コース，B コース (C コース含む) に分かれて受講します。受講する授業を選択することなく，指定された授業を履修します。

「英語 (基礎)」と「英語 (中級)」は同じコースで受講しますが，A コース，Pre-A コースの「英語 (基礎)」で成績評価が「F」又は「W」だった場合，「英語 (中級)」は B コースのクラスを指定されません。

「英語 (基礎)」で B コースだった学生のうち希望者を対象にⅡ期開始前の 9 月上旬に「Pre-A コース編入テスト」が実施されます。受験者のうち，成績優秀者は「英語 (中級)」を Pre-A コースで受講します。詳細は，別途名古屋大学ポータルにてお知らせします。

3) 「英語 (コミュニケーション)」・「英語 (セミナー)」受講定員：原則 24 名，2 単位

対象学部，あるいは複数の指定クラス内 (工学部) で受講するクラスを選択します。指定クラス以外の授業を受講することはできません。

4) 「英語 (上級)」受講定員：原則 20 名，2 単位

対象学部，あるいは複数の指定クラス内 (工学部) で受講するクラスを選択します。指定クラス以外の授業を受講することはできません。

5) 「英語 (上級リーディング)」受講定員：原則 40 名，1 単位

文学部対象のクラス内で受講するクラスを選択します。

6) 「特別英語セミナー」受講定員：原則 20 名，2 単位

「特別英語セミナー (資格試験英語)」春学期開講，受講対象 1 年次以上

「特別英語セミナー (A 類)」 「特別英語セミナー (B 類)」 「特別英語セミナー (C 類)」春学期・秋学期開講，受講対象 3 年次以上

英語を深く学びたい学生向けの科目です。

いずれも随意科目であり，卒業要件及び進級要件単位としては認められません。

④ 各期に受講できる単位数の上限 (上記③各科目の紹介における 2) ~6) が対象)

学部	I 期	II 期	III 期
文学部	2 単位	6 単位 - [I 期の修得単位数]	9 単位 - [I 期，II 期の修得単位数]
教育学部，法学部，経済学部，情報学部，理学部，医学部 (保)，工学部，農学部	2 単位	6 単位 - [I 期の修得単位数]	8 単位 - [I 期，II 期の修得単位数]
医学部 (医)	- B コースで英語 (基礎) を受講した者を除く。	4 単位	6 単位 - [II 期の修得単位数]

IV 期以降は，不足単位数分のみ受講できます。

⑤ 再履修

卒業に必要な単位を取得できなかった場合は、同一名称の授業を再度履修するか、または、同一名称授業の単位補充クラスを受講して単位を取得しなければなりません。

「英語（上級リーディング）1」または「英語（上級リーディング）2」の注意事項

単位を取得できなかった場合は、「英語（上級リーディング）1」または「英語（上級リーディング）2」を履修することによって、またはどちらかを複数履修することによって、卒業に必要な単位を取得しなければなりません。同一教科書による授業を2つ受講しても、単位は認められません。

「英語（サバイバル）」の注意事項

再試験が行われることがあります。

⑥ 単位補充クラス

授業を5回以上欠席した場合、成績が「W」となり、次の期に開講される当該科目の単位補充クラスの授業を受ける資格を失います。

同一科目の単位補充クラスを複数履修登録した場合、いずれの登録も削除され、履修不可となります。

単位補充クラスを受講する場合は、「履修手続きに関する注意事項」の手順に従って履修登録を行わなければ、当該学期に履修することはできません。

⑦ 履修相談

〔英語〕尾関 修治教員(相談専用問い合わせフォーム：<https://forms.office.com/r/KfQVZ3Jdrx>)



(3) 初修外国語

〔授業科目表〕

授業科目		単位数	備考
多言語修得基礎	演習	1	
ドイツ語基礎 1	演習	2	
ドイツ語基礎 2	演習	2	
ドイツ語初級完成	演習	2	
ドイツ語中級 1	演習	2	
ドイツ語中級 2	演習	2	
ドイツ語中級	演習	2	
ドイツ語上級	演習	2	
フランス語基礎 1	演習	2	
フランス語基礎 2	演習	2	
フランス語初級完成	演習	2	
フランス語中級 1	演習	2	
フランス語中級 2	演習	2	
フランス語中級	演習	2	
フランス語上級	演習	2	
ロシア語基礎 1	演習	2	
ロシア語基礎 2	演習	2	
ロシア語初級完成	演習	2	
ロシア語中級 1	演習	2	
ロシア語中級 2	演習	2	
ロシア語中級	演習	2	
ロシア語上級	演習	2	
中国語基礎 1	演習	2	
中国語基礎 2	演習	2	
中国語初級完成	演習	2	
中国語中級 1	演習	2	
中国語中級 2	演習	2	
中国語中級	演習	2	
中国語上級	演習	2	
スペイン語基礎 1	演習	2	
スペイン語基礎 2	演習	2	
スペイン語初級完成	演習	2	
スペイン語中級 1	演習	2	
スペイン語中級 2	演習	2	
スペイン語中級	演習	2	
スペイン語上級	演習	2	
朝鮮・韓国語基礎 1	演習	2	
朝鮮・韓国語基礎 2	演習	2	
朝鮮・韓国語初級完成	演習	2	
朝鮮・韓国語中級 1	演習	2	
朝鮮・韓国語中級 2	演習	2	
朝鮮・韓国語中級	演習	2	
朝鮮・韓国語上級	演習	2	
イタリア語基礎 1	演習	2	随意科目

イタリア語基礎 2	演習	2	随意科目
ポルトガル語基礎 1	演習	2	随意科目
ポルトガル語基礎 2	演習	2	随意科目

〔開講の目的〕

各授業科目の「開講の目的」は、教養教育院のホームページで確認してください。

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/courses.html#subject>



〔履修に関する注意事項〕

① 学部・学科別履修パターン

※初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）の1言語については、以下【初修外国語】と表記します。

文学部，教育学部，法学部，情報学部（人間・社会情報学科）

I 期	II 期	III 期	IV 期
【初修外国語】基礎 1 【初修外国語】基礎 2	【初修外国語】初級完成	【初修外国語】中級 1	【初修外国語】中級 2

※V期以降，【初修外国語】上級を随意科目として受講できます。

経済学部

I 期	II 期	III 期	IV 期
多言語修得基礎	【初修外国語】基礎 1 【初修外国語】基礎 2	【初修外国語】初級完成	【初修外国語】中級

※V期以降，【初修外国語】中級 2，【初修外国語】上級を随意科目として受講できます。

情報学部（自然情報学科，コンピュータ科学科），医学部，工学部

I 期	II 期
多言語修得基礎	【初修外国語】基礎 1 【初修外国語】基礎 2

※III期以降，【初修外国語】初級完成～【初修外国語】上級の各科目を随意科目として受講できます。

理学部

I 期
多言語修得基礎

※II期以降，【初修外国語】基礎 1～【初修外国語】上級の各科目を随意科目として受講できます。

【初修外国語】基礎 1，基礎 2 は卒業必要単位数に入りませんが，進級要件単位として扱います。

農学部

I 期	II 期
【初修外国語】基礎 1 【初修外国語】基礎 2	【初修外国語】初級完成

※III期以降，【初修外国語】中級 1～【初修外国語】上級の各科目を随意科目として受講できます。

② 初修外国語の各言語について

卒業に必要な初修外国語として、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語から1言語を選択し履修します。

各言語の詳細は、I期に開講される多言語修得基礎の授業内で紹介します。

また、各言語を紹介するホームページ「名古屋大学教養教育院言語文化科目」（または「名古屋大学言語文化科目」で検索）や、本冊子の「(1) 外国語の履修について」（77ページ）も参照してください。

参考：「名古屋大学教養教育院言語文化科目」<http://lang.ilas.nagoya-u.ac.jp>



③ 言語の選択について

1) 文学部，教育学部，法学部，情報学部（人間・社会情報学科），農学部の学生

I期から【初修外国語】基礎1，基礎2を受講する，文学部，教育学部，法学部，情報学部（人間・社会情報学科），農学部の学生は，入学時の履修登録の段階で，どの言語を履修するか選択する必要があります。

ただし，各言語に開設されるクラス数に限りがあり，希望どおりの履修ができるとは限らないので，4月3日（日）新入生履修ガイダンス終了後から4月4日（月）までに，それぞれの言語について第1希望から第6希望をWeb（[名古屋大学ポータル](#)）の「初修外国語」メニューから登録してください。

希望を基に受講調整を行い，履修言語とクラスを指定します。結果は，4月8日（金）に[名古屋大学ポータル](#)「学務」－「履修・成績」－「履修登録状況確認」から確認してください。決定した授業からの変更はできません。

2) 経済学部，情報学部（自然情報学科，コンピュータ科学科），医学部，理学部，工学部の学生

II期から【初修外国語】基礎1，基礎2を受講する，経済学部，情報学部（自然情報学科，コンピュータ科学科），医学部，工学部の学生は，I期の多言語修得基礎における各言語の紹介を踏まえ，II期の履修登録時にどの言語を履修するか希望を登録します。理学部の学生は，II期の【初修外国語】基礎1，基礎2は卒業要件に算入されませんが，進級要件単位として扱われます。

④ 各科目の紹介

1) 「多言語修得基礎」学部・学科別指定クラス，1単位

1年生春学期（I期）の春1期又は春2期に受講します。受講する授業を選択することなく，学部・学科等別に以下に指定された授業を履修します。

春1期：月曜1限	春1期：火曜2限	春2期：月曜1限	春2期：火曜2限
経済学部 情報学部（自然・コン） 工学部（物工・土建）	理学部	工学部（化生・マテ・電情・機航・エネ）	医学部

※詳細なクラスは，受講登録時に名古屋大学ポータルの教養教育院ページから確認してください。

2) 「【初修外国語】基礎1」「【初修外国語】基礎2」受講定員：原則30名，2単位

初修外国語としてドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，スペイン語及び朝鮮・韓国語から1言語を選択し履修します。希望する言語に応じて，受講する授業を選択することなく，指定された授業を履修します。

3) 「【初修外国語】初級完成」「【初修外国語】中級1」「【初修外国語】中級2」「【初修外国語】中級」

受講定員：原則30名，2単位

言語ごとに，受講する授業を選択することなく，指定された授業を履修します。

4) 「【初修外国語】上級」受講定員：原則20名，2単位

【初修外国語】を深く学びたい学生向けの科目です。各学部の卒業要件に示されている科目の単位

を全て修得している場合には、随意科目になります。

5) 「イタリア語基礎 1」「イタリア語基礎 2」「ポルトガル語基礎 1」「ポルトガル語基礎 2」

受講定員：原則として 20 名，2 単位

その他の言語を学びたい学生向けの科目です。随意科目であり，卒業要件及び進級要件単位としては認められません。

⑤ 複数の初修外国語を履修したい場合

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で，異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は，変更前と変更後の言語担当教員（「⑧履修相談」参照）に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は，学部・学科ごとに以下のとおり変更後の言語について履修します。

変更後のクラスは，学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

1) 文学部，教育学部，法学部，~~経済学部~~，情報学部（人間・社会情報学科）

変更後の言語の【初修外国語】基礎 1，基礎 2，初級完成を履修することにより，言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって，初修外国語の卒業要件及び進級要件を全て満たしたものと認められます。

2) 経済学部

変更後の言語の【初修外国語】基礎 1，基礎 2 を履修することにより，言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって，初修外国語の卒業要件及び進級要件を全て満たしたものと認められます。

3) 上記以外の学部

複数の初修外国語の履修は卒業要件及び進級要件としては認められません。

なお，基礎 1 又は基礎 2 の単位が修得できなかった後に，異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合も，変更前と変更後の言語担当教員（「⑧履修相談」参照）に相談してください。この場合の履修要件は当初のものと同じです。

⑥ 一つの外国語につき各期に受講できる単位数の上限（上記②各科目の紹介における 2）～4）が対象

学部	I 期	II 期	III 期
文学部，教育学部，法学部，情報学部（人社）	4 単位	6 単位－[I 期の修得単位数]	8 単位－[I 期，II 期の修得単位数]
経済学部	—	4 単位	6 単位－[II 期の修得単位数]
情報学部（自然，コン），医学部，工学部	—	4 単位	不足単位数
農学部	4 単位	6 単位－[I 期の修得単位数]	不足単位数

IV 期以降は，不足単位数分のみ受講できます。

⑦ 再履修

卒業に必要な単位を取得できなかった場合は、同一名称の授業を再度受講して単位を取得しなければなりません。

学部指定オビ以外の【初修外国語】の各クラスは、単位補充として履修することができます。

以下の科目は、単位を取得できなかった場合、下記の別の読み替え可能な科目を履修することで、卒業要件として認められます。この場合、中級1、中級2は同じ科目を重複して履修することができます。

科目	読み替え可能な科目
中級1	中級2, 中級, 上級
中級2	中級1, 中級, 上級
中級	中級1, 中級2, 上級

⑧ 履修相談

〔ドイツ語〕 安川晴基教員 (E-mail : yasukawa@nagoya-u.jp)

〔フランス語〕 鳥山定嗣教員 (E-mail : toriyama.teiji.n8@f.mail.nagoya-u.ac.jp)

〔ロシア語〕 サヴェリエフ イゴリ教員 (E-mail : saveliev.igor.d2@f.mail.nagoya-u.ac.jp)

〔中国語〕 勝川裕子教員 (E-mail : katsukawa.yuko.t4@f.mail.nagoya-u.ac.jp)

〔スペイン語〕 志波彩子教員 (E-mail : a-shiba@nagoya-u.jp)

〔朝鮮・韓国語〕 宇都木昭教員 (E-mail : utsugi@nagoya-u.jp)

(4) 検定試験による単位認定制度

この制度は、英語及び初修外国語の検定試験で所定の認定または点数を得た学生に対し、その認定または点数に基づいて、「英語（基礎）」・「英語（中級）」・「英語（コミュニケーション）」及び初修外国語の単位を認定するものです。

① 本制度が適用される学生

2022 年度入学生

(2021 年度以前入学生は、入学年度の「履修の手引」で検定試験の種類、認定単位数を確認してください。)

② 単位認定の対象となる検定試験と認定される単位数

検定試験の結果に基づいて、単位認定を受けるには、指定された検定試験のいずれかにおいて、次表に定める認定または点数を得なければなりません。レベル・級位に応じ、対象授業科目のうちから認定可能単位数の範囲内で認定されます。

[注意]

- 1) 既に当該学部の英語及び初修外国語に関する卒業必要単位数を充足している場合及び既に単位を修得している科目には、検定試験による単位認定は行われません。
- 2) 他大学で取得した単位は、最大で 60 単位まで本学の単位として認定でき、検定試験により認定される単位は、その 60 単位の中に含まれます。(名古屋大学通則第 23 条の 2 参照)
- 3) 検定試験による単位認定を受けた授業科目の成績評価は「T」となります。GPA には算入しません。
- 4) 検定試験の認定日または受験日は、単位認定申請時の 2 年前までに限ります。

○英語

検定試験の種類（実施団体）	レベル・級位	認定対象授業科目	認定可能単位数
実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）	一級	英語（基礎） 英語（中級） 英語（コミュニケーション）	左記の授業科目の内から、2 単位（1 科目）
技術英語能力検定 （公益社団法人日本技術英語協会）	プロフェッショナル		
国際連合公用語英語検定試験 （公益財団法人日本国際連合協会）	A 級, 特 A 級		
TOEFL iBT : Test of English as a Foreign Language （一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会）	88 点以上		
TOEIC L&R : Test of English for International Communication Listening & Reading Test （一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）	787 点以上		
ケンブリッジ英語検定 （ケンブリッジ大学英語検定機構）	C1Advanced, C2Proficiency		
IELTS : International English Language Testing System（公益財団法人日本英語検定協会）	7.0 以上		

* いずれの検定試験も、正規の公開試験の結果のみが単位認定の対象となります。

[注意] 卒業単位としての取扱いについては学部により異なります。

- 1) 検定試験の結果により単位認定を受けることができるのは、2 単位です。
- 2) C コースの学生で英語検定試験の単位認定を受けた者は、「英語（サバイバル）」の履修を免除します。
- 3) 1 年次 4 月と 12 月に行われる TOEFL ITP は含まれません。

○初修外国語

言語	検定試験の種類（実施団体）	レベル・級位	認定対象授業科目	認定可能単位数
ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験 (GOETHE INSTITUT)	A1	ドイツ語基礎 1～2 ドイツ語初級完成	4 単位
		A2, B1～C2	ドイツ語基礎 1～2 ドイツ語初級完成 ドイツ語中級 1～2 ドイツ語中級	6 単位
	ドイツ語技能検定試験 (公益財団法人ドイツ語学文学振興会)	4 級	ドイツ語基礎 1～2 ドイツ語初級完成	4 単位
		3 級～1 級	ドイツ語基礎 1～2 ドイツ語初級完成 ドイツ語中級 1～2 ドイツ語中級	6 単位
	オーストリア政府公認ドイツ語能力検定 試験 (ÖSD)	A1	ドイツ語基礎 1～2 ドイツ語初級完成	4 単位
		A2, B1～C2	ドイツ語基礎 1～2 ドイツ語初級完成 ドイツ語中級 1～2 ドイツ語中級	6 単位
フランス語	DELTA DALF (日本フランス語試験管理センター)	DELTA A2	フランス語基礎 1～2 フランス語初級完成	4 単位
		DELTA B1～B2 DALF C1, C2	フランス語基礎 1～2 フランス語初級完成	6 単位
	実用フランス語技能検定試験 (公益財団法人フランス語教育振興協会)	3 級	フランス語基礎 1～2 フランス語初級完成	4 単位
		準2 級～1 級	フランス語基礎 1～2 フランス語初級完成	6 単位
ロシア語	ロシア語検定試験 (日本対外文化協会)	入門レベル	ロシア語基礎 1～2 ロシア語初級完成	4 単位
		基礎レベル, 第 1～第4レベル	ロシア語基礎 1～2 ロシア語初級完成	6 単位
	ロシア語能力検定試験 (ロシア語能力検定委員会)	4 級	ロシア語基礎 1～2 ロシア語初級完成	4 単位
		3 級～1 級	ロシア語基礎 1～2 ロシア語初級完成	6 単位
中国語	中国語検定試験 (一般財団法人日本中国語検定協会)	4 級	中国語基礎 1～2 中国語初級完成	4 単位
		3 級～1 級	中国語基礎 1～2 中国語初級完成	6 単位
	漢語水平考試 (HSK) (HSK 日本実施委員会)	4 級	中国語基礎 1～2 中国語初級完成	4 単位
		5, 6 級	中国語基礎 1～2 中国語初級完成	6 単位
スペイン語	DELE (セルバンテス文化センター)	DELE A1	スペイン語基礎 1～2 スペイン語初級完成	4 単位
		DELE A2, B1～C2	スペイン語基礎 1～2 スペイン語初級完成	6 単位
	スペイン語技能検定 (公益財団法人日本スペイン協会)	5 級	スペイン語基礎 1～2 スペイン語初級完成	4 単位
		4 級～1 級	スペイン語基礎 1～2 スペイン語初級完成	6 単位
朝鮮・韓国 語	韓国語能力試験 (大韓民国教育省・国立国際教育(NIIED))	2 級	朝鮮・韓国語基礎 1～2 朝鮮・韓国語初級完成	4 単位
		3 級～6 級	朝鮮・韓国語基礎 1～2 朝鮮・韓国語初級完成	6 単位

	ハングル能力検定試験 (特定非営利活動法人ハングル能力検定協会)	4 級	朝鮮・韓国語基礎 1～2 朝鮮・韓国語初級完成	4 単位
		3 級～1 級	朝鮮・韓国語基礎 1～2 朝鮮・韓国語初級完成	6 単位

* いずれの検定試験も、正規の公開試験の結果のみが単位認定の対象となります。

[注意] 卒業単位としての取扱いについては学部により異なりますので、注意してください。

- 1) 検定試験の結果により単位認定を受けることができるのは、最大6単位までです。
- 2) 初修外国語について、上記の表の定めるところに従い4単位の認定を受けた学生が、その後の検定試験において、6単位の認定を受けるに値する認定または点数を得た場合には、所定の手続きを経た後、本学の単位としてさらに2単位の認定を受けることができます。ただし、一つの検定試験により単位認定を受けたうえで、さらに異なる検定試験において同水準の成績を修めても、単位は加算されません。
- 3) 履修中の言語以外の言語の検定試験についても申請することが可能です。

③ 単位認定の申請

検定試験において所定の認定または点数を得た学生が、言語文化科目の単位として認定を希望する場合は、次に示す期間に教養教育院事務室に申請してください。申請手続きについては名古屋大学ポータルサイトの教養教育院ページにてお知らせします。

春学期単位認定申請期間：2022年4月11日（月）～2022年4月15日（金）

秋学期単位認定申請期間：2022年10月3日（月）～2022年10月7日（金）

④ 単位認定の流れ

申請後、教養教育院で審査します。その際面接等はありません。申請書類に問題がなければ、申請した期の Web（教務システム）の「修得科目確認(成績照会)」で単位が確認できます。

⑤ 単位認定を受けた学生に対する措置

単位認定を受けた学生には、卒業単位ないし進級単位の修得上の必要の有無にかかわらず、たとえば高度なレベルの語学能力の養成を目指す授業を受講するなどの方法により、英語及び初修外国語の学習をさらに積極的に継続するよう奨励します。

(5) 日本語：外国人留学生のみ（「レポート・論文作成法」は日本人学生も履修可）

〔授業科目表〕

授業科目		単位数	備考
日本語文章表現法	演習	2	
日本語口頭表現法	演習	2	
多文化コミュニケーション論	演習	2	
日本語総合演習 1	演習	2	
日本語総合演習 2	演習	2	
レポート・論文作成法	演習	2	随意科目

〔開講の目的〕

各授業科目の「開講の目的」は、教養教育院のホームページで確認してください。

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/courses.html#subject>



〔履修に関する注意事項〕

① 言語の選択について

「日本語」は、外国人留学生のみ履修することができます。「日本語」の各科目のうち、「レポート・論文作成法」は日本人学生も履修することができます（随意科目であり、卒業要件には算入されません）。

法学部，経済学部の外国人留学生	文学部，教育学部，情報学部，理学部，医学部，工学部，農学部の外国人留学生
日本語必修	初修外国語に代えて日本語を選択可能

② 学部・学科別履修パターン

文学部，教育学部，法学部，経済学部，情報学部（人文・社会情報学科）

I 期	II 期	III 期	IV 期
日本語文章表現法 日本語口頭表現法	多文化コミュニケーション論	日本語総合演習 1	日本語総合演習 2

※III期以降，レポート・論文作成法を随意科目として受講できます。

情報学部（自然情報学科，コンピュータ科学科），医学部，工学部，農学部

I 期	II 期
日本語文章表現法 日本語口頭表現法	多文化コミュニケーション論

※III期以降，日本語総合演習 1～レポート・論文作成法の各科目を随意科目として受講できます。

理学部

I 期
日本語文章表現法

※I期以降，日本語口頭表現法～レポート・論文作成法の各科目を随意科目として受講できます。

③ 各科目の紹介

1) 「日本語文章表現法」全学部指定クラス，2 単位

複数クラスが開講されます。

a) 文学部，教育学部，法学部，情報学部（人間・社会情報学科），農学部の学生

履修登録の際，「名古屋大学ポータル」－「学務」－「履修・成績」－「初修外国語」から【日本語】を選択してください。クラスは自動で登録されます。

b) 経済学部，情報学部（自然情報学科，コンピュータ科学科），理学部，医学部，工学部の学生
当初の履修登録を行わず，時間割を確認して都合の良いクラスを選択し，初回授業に参加します。

4 月 11 日（月）～18 日（月）の履修登録修正 Web 入力期間に履修するクラスを追加入力します。

2) 「日本語口頭表現法」2 単位

I 期木曜 5 限の授業です。同時間に開講される基礎セミナーと重複するので，この授業を履修する学生は，履修登録の際，木曜 5 限以外の基礎セミナーを希望して登録してください。

a) 文学部，教育学部，法学部，情報学部（人間・社会情報学科），農学部の学生

履修登録の際，「名古屋大学ポータル」－「学務」－「履修・成績」－「初修外国語」から【日本語】を選択してください。クラスは自動で登録されます。

b) 経済学部，情報学部（自然情報学科，コンピュータ科学科），理学部，医学部，工学部の学生
当初の履修登録を行わず，初回授業に参加します。

4 月 11 日（月）～18 日（月）の履修登録修正 Web 入力期間に履修するクラスを追加入力します。

3) 「多文化コミュニケーション」「日本語総合演習 1」「日本語総合演習 2」各 2 単位

受講するクラスを選択して履修登録します。

4) 「レポート・論文作成法」2 単位

2 年次以上を対象に，大学で作成する日本語のレポート，論文作成法を学ぶ科目です。この科目は日本人学生も履修することができます。随意科目であり，卒業要件及び進級要件単位としては認められません。

④ 各期に受講できる単位数の上限（上記②各科目の紹介における 1) ～3) が対象<卒業要件に算入される科目に限る>）

学部	I 期	II 期	III 期
文学部，教育学部，法学部，経済学部，情報学部（人社）	4 単位	6 単位－[I 期の修得単位数]	8 単位－[I 期，II 期の修得単位数]
情報学部（自然，コン），医学部，工学部，農学部	4 単位	6 単位－[I 期の修得単位数]	不足単位数
理学部	2 単位	不足単位数	不足単位数

IV 期以降は，不足単位数分のみ受講できます。

⑤ 再履修

卒業に必要な単位を取得できなかった場合は、同一名称の授業を再度受講して単位を取得しなければなりません。「日本語総合演習 1」「日本語総合演習 2」で単位を取得できなかった場合は、「日本語総合演習 1」または「日本語総合演習 2」を履修することによって、またはどちらかを複数履修することによって卒業に必要な単位を取得しなければなりません。

⑥ 履修相談

〔日本語〕 許 明子教員 (E-mail : heo.myeongja@nagoya-u.jp)